

2022年12月5日

当院で脳梗塞の治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、いつでも研究参加を拒否することができますので、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。研究参加拒否を申し出られた場合にも、患者様・ご家族が不利益を受けることはありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2019年7月～2023年9月の間に、脳梗塞の治療のため入院された方

【研究課題名】頭部MRI画像と脳血管造影の融合画像を用いた脳梗塞の病態解明

【研究責任者】国立循環器病研究センター 脳血管内科 部長 古賀 政利

【研究の目的】脳梗塞の原因となる血管を調べ、脳梗塞の病態を解明すること

【利用する診療情報】

(臨床情報)

年齢、性別、発症日、入院日、身長、体重、BMI、喫煙歴、飲酒歴、既往歴(特に脳梗塞/脳出血、虚血性心疾患、動脈硬化リスク因子)、家族歴、発症前内服薬、発症前の日常生活動作、来院時血圧、来院時神経学的所見、超急性期治療の有無(rt-PA静注療法、緊急血行再建術)、超急性期治療の治療経過(発症・来院・初回画像評価・治療開始/終了時間・再開通の有無と程度)、治療後神経学的所見、脳梗塞の病型(ラクナ/アテローム血栓性/心原性/その他)、脳梗塞巣の部位、脳梗塞の病巣/灌流異常域の容積、主幹動脈病変、神経症候増悪の有無、脳卒中再発の有無、退院時抗血栓療法、退院時神経学的所見、退院時日常生活動作、血液検査所見、画像検査

(フォローアップ)

発症3ヶ月後の日常生活動作、発症3ヶ月以内の脳卒中再発の有無

【研究期間】研究許可日より2025年3月31日まで(予定)

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。本研究は将来、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳血管内科 担当医師 高下 純平
電話 06-6170-1070(代表)